

一般質問

地元業者に 仕事をまわして 佐渡経済の活性化を



中村良夫 議員

小規模工事の 登録制度について

質問

「小規模工事の登録制度」は地方自治法234条に基づく「随意契約」の創造的な運用を図ることを目的に、自治体が設け始めた制度。佐渡市が発注する土木・建築・電気・内装仕上げ・板金・塗装・ガラス・造園など多岐にわたる小規模工事に、今まで指名競争入札の参加資格登録をしていなかった人も登録できる制度の創設を求める。また地元印刷業者にも光をあててほしい。市になつて仕事が増えたと言っている。

市議員の意見は理解している。是非、小さな業者も生きのびることができるように願っている。

よう地域の技術が継承されるように願っている。

財政課長

県内では7市その他、町でも制度活用している。今後、市として登録制度を創設することについて、現在行っている建設工事における入札参加資格の弾力運用、先進地の取扱いをふまえ、また各市の状況、このあとの機構改革等も含めた中で検討する。

新型レーダー配備白紙に

質問

金北山にある航空自衛隊レーダー基地が、防衛庁のミサイル防衛(MD)構想で新型レーダー配備で強化されるが、ミサイル防衛システムは完成したシステムとはいえず、アメリカが進め

ている軍拡競争に日本を引き込むものである。今必要なのは軍事的対決の悪循環に陥るのではなく、話し合いで解決するために努力することだ。いたずらに「仮想敵」を想定し「ミサイル防衛」などと騒ぎ立てることは憲法が予定していることではない。基地の付近は風光明媚で市



新型レーダー設置となる航空自衛隊所属
第46警戒群 (旧金井町)

民や県民にとって「ふるさと」ともいふべき場所であり、憩いの地として安心して利用できるようにすべきだ。白紙に戻すよう国に申し込まれたい。

市長

北朝鮮は、テポドンをうつつ実験をやっている。日本は「仮想敵国」ではなく火の海にすると言われれば、それはやはり自分で守らなければならない。話し合いに徹すればと言われるが、結果こうなった。金北山は我々の山だが、やむを得ずレーダー配備を認めている。ついでは、効率よく性能のいいのを配置してもらいたい。

介護保険制度見直しに

について

質問

介護保険制度見直しで社会福祉課長は「確かに施設入所者に対する負担増になることは間違いない。新たな負担と低所得者への支援策を新たに検討する」と制度見直しには問題点があると認めた。お年寄りが安心して暮らせるにはどう

したらよいか。安心して利用できる制度にするための見解を問う。

社会福祉課長

昨年6月全国市町村会から国へ要望書が出ている。また昨年10月には、介護保険サミットが厚労省であり、市長も出席し地方の悩みを訴えてきた。今年の4月には、東京の中央省庁の佐渡出身者で構成する「東京おけさ会」の席で、厚労省の介護保険課長の発言を受け、私の方も地方の悩み、市の現状を訴えてきた。今、この法案については参議院で審議中であり、政令・省令・要綱等がまだみえていないので具体的なことはこのあとになる。



特別養護老人ホーム 歌代の里